

# コロナ後を小国郷

すべての世代の人生を重ね合わせた地域ケアを考える

地域づくりと医療・ケアを考える小国郷住民フォーラム vol.2

私たちの暮らしに多くの課題を突き付けた新型コロナウイルス。

小国郷のまちの暮らしや医療・ケアもこの2年間で変化を遂げてきました。この先、また新たな病が現れたとしても、家族やふるさとの形が変わったとしても、良く生きる為の人の営みとは。

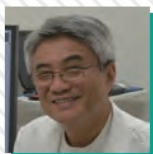
あなたから見えている課題や必要な機能や支援、あってほしい豊かさとは？

そんな人生の豊かさと医療・ケア（介護・子育て）の事を考えるフォーラムの第2弾。

今回はコロナ後を象徴し、会場でのフォーラム開催としました。前回同様オンラインでの視聴も可能なので、会場でもオンラインでもお好きなところからご参加下さい。

【第1部】 講演

## よく生きて逝く為の人生会議



にしくまもと病院 名誉院長 林 茂 先生

にしくまもと病院名誉院長 / 熊本市南区地域包括ケアシステム推進会議（会長） / 昭和24年3月1日阿蘇郡白水村で生まれ、小学校から熊本市で育つ / 昭和48年熊本大学医学部卒 / 神戸大学麻酔科研修 / 平成3年西熊本病院副院長 / 平成4年にしくまもと病院院長 / 平成5年米子ホスピタウン訪問 / 熊本ホスピタウン構想作成 / 平成29年熊本市地域包括ケアシステム推進会議・委員 / 平成31年にしくまもと病院名誉院長 / 令和3年9月より南区で人生会議セミナー出前講座を行う

【第2部】 意見交換

## イマドキの小国郷のケアに出会おう！

医療 MaaS・ウェルビーイング・エンディングノート・しごとコンビニ etc...

今回は会場でブースに分かれて、30分程度のディスカッションをみなさんと進めて行きたいと思います。ディスカッションテーマは、「医療 MaaS（オンライン診療車）」「世代別のウェルビーイング」「しごとコンビニ」「小国郷で生きて逝くノート（エンディングノート）」「中高生歓迎！小国郷の医療・福祉系の専門職と話そう」などなど、鋭意企画中！  
※内容はホームページに掲載していきます。

日時 令和5年7月15日(土)

13:00 開場 13:30 開始

場所 JA 阿蘇小国郷

情報企画センター2階ホール

### 参加・視聴方法

今回のフォーラムは、会場に来ていただく参加方法を標準として企画しておりますが、リアル参加ができない方の為に、オンライン視聴も可能です。右記 URL・QR コードからご視聴ください。

※今回は会場参加が基本の為、パブリックビューイングは予定しておりません



Zoom

ウェビナー

<https://bit.ly/44dt63D>



同時配信

YouTube

(あぐにあんしんチャンネル)  
<https://bit.ly/3p5GYOx>

### 小国郷住民フォーラム 2023

主催：小国郷住民フォーラム実行委員会・小国郷医療福祉あんしんネットワーク

共催：小国郷在宅医療サポートセンター

後援：阿蘇郡市医師会・熊本県阿蘇保健所・阿蘇在宅医療システム研究会

小国町・南小国町・小国町社会福祉協議会・南小国町社会福祉協議会

詳細は小国郷医療福祉あんしんネットワークのホームページに掲載

あぐにあんしん

お問い合わせ：小国郷住民フォーラム実行委員会（小国町社協内）

0967-46-5575

## 「コロナ後の小国郷でよく生きる。」

～すべての世代の人生を重ね合わせた地域ケアを考える～ 企画にあたり

小国郷住民フォーラム実行委員会 発起人 片岡 恵一郎

前回の小国郷オンライン住民フォーラム「コロナ禍を小国郷で乗り越える。」は令和3年2月27日だったので、2年以上が経過しました。前回のフォーラムで「コロナ禍を小国郷で乗り越えるために必要なもの」についてそれぞれの思いを提示していただきましたが、まさに、それを実践してきた2年間だったと思います。

この数年間、私達は人類史に残るパンデミックを経験し、社会の様相が一変するという数百年に一度の出来事を肌で体感しました。本来なら年に1～2回のフォーラムをシリーズで開催する予定でしたが、医療・福祉業界だけでなく、社会全体がそういう「気」を失ってしまっていました。

ウイルスを媒介しない様、人と人の距離を確保し、同じ空気を吸わない代わりに、デジタル技術で隙間を埋めてみる、という試みが世界中で行われました。その結果、デジタルでの素晴らしい体験が生まれたと同時に、デジタルでは代替できない人間の営みが「なにかある」という感覚も共有できる様になりました。

コロナ禍を人類が乗り越えようとする時期に同期する様に、デジタル技術や人工知能が指数関数的に世界を拡張し始めています。新しい時代に、人間が「良く生きる」為に必要な“人間の本質”について考える事が生きる上で必須になっていますし、そのヒントはコロナ禍で失われた数年間に隠されている気がしています。

コロナ禍を乗り越え、新時代を迎えた今、すべての世代が自分らしく生きられる地域とはどういう地域なのか、みんなで考えてみるきっかけになるフォーラムをやってみたい、と思います。

“良く生きる”とは、“美しく生きる”という概念を含んでいます。生産性高く、答えや成果を求める事が、必ずしも人間として美しいとはいえないのかもしれませんが。癒やしや幸福感のつまった住民フォーラムになることを願っています。

### 小国郷住民フォーラム実行委員会（順不同）

江藤 理一郎、安部 千尋、伊澤 良樹、高木 一磨、野村 卓馬

周宝 光春、安川 さゆり、片岡 恵一郎

【事務局】有働 多津美、佐藤 直美、高橋 加緒里



小国郷医療福祉  
あんしんネットワーク

<http://oguni-anshin.net>

**日時** 令和5年7月15日(土)

13:00 開場 13:30 開始

**場所** JA 阿蘇小国郷  
情報企画センター2階ホール

### 参加・視聴方法

今回のフォーラムは、会場に来ていただく参加方法を標準として企画しておりますが、リアル参加ができない方の為に、オンライン視聴も可能です。右記URL・QRコードからご視聴ください。



**Zoom**

ウェビナー

<https://bit.ly/44dt63D>



**同時配信**

**YouTube**

(おぐにあんしんチャンネル)

<https://bit.ly/3p5GYOx>

※今回は会場参加が基本の為、パブリックビューイングは予定しておりません